

野田邦弘・小泉元宏・竹内潔・家中茂編著  
『アートがひらく地域のこれから—クリエイティビティを生かす社会へ』(ミネルヴァ書房、2020年)出版記念

参加無料

地域経済論の視点からローカル志向時代を展望する

大阪市立大学准教授  
松永桂子



専門は地域経済論。島根県立大学教員を経て現職。島根は第二のふるさとして。著書『ローカル志向の時代』『創造的地域社会』。

空き屋の有効活用など空間論から考える地方の未来像

まちづくり活動家・研究者  
大谷悠



2011年ドイツのライプツィヒでNPO「日本の家」を設立。以来空き家・空き地で活動中。著書に『都市の〈隙間〉からまちをつくらう』

鳥取から考えるゼロエミッションへの道のり

千葉商科大学准教授  
田中信一郎



国会議員政策秘書、内閣官房、長野県等を経て現職。専門は公共政策。著書に『信州はエネルギーシフトする』(築地書館)がある。

3/13 (土)

14:00～17:30  
オンライン併催

会場

鳥取大学地域学部5階5160教室  
(鳥取市湖山町南4-101)

申込・問合せ

氏名、(所属)、住所(市町村)、メールアドレス、会場かオンラインかを明記しメールでお申し込みください。オンライン希望者には後日URLを送ります  
(宛先)tottoricreative@gmail.com

コロナ対策

200人超の大教室を会場に定員の半数先着100名で実施します(オンラインは別途)

主催

鳥取大学地域学部  
地域とクリエイティビティ研究会



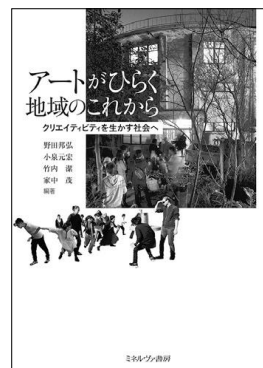
——理論の整理と多彩な実践の記録から想像と創造の可能性を問いかける

野田邦弘／小泉元宏／竹内 潔／家中 茂 編著

# アートがひらく地域のこれから

——クリエイティビティを生かす社会へ

ISBN978-4-623-08800-3 C3036 A5判美装カバー292頁 本体3200円(税別) 2020年3月刊行



近年、アートによる地域活性化やまちおこし、観光振興が注目を集め、創造産業や創造都市、地域アートに関する議論が盛んになっている。本書は、こうしたクリエイティビティにかかわる理論の整理と事例の検討からなる実践的入門書。はたして地域においてクリエイティビティはどのような意味と価値を持つのだろうか。



- ◎ 芸術・文化政策の基本となる理論・歴史・事例を概観できる
- ◎ 地域のアート関連の事例から多彩なヒントが学べる
- ◎ コラムでは実践的取り組みを紹介する

はしがき——生のための戦術と技法

第I部 アート・知識生産・文化政策——理論編

第1章 私たちのクリエイティビティ……………小泉元宏

- 1 「稼ぐ」ためのクリエイティビティ
- 2 地域社会における生 - 権力
- 3 期待される「地域」を打ち返す  
——滞在複合スペース「たみ」の実践
- 4 「見たいもの」以外のものを見るための共愉

第2章 自然を対象とする知識生産について……………家中 茂

——地域環境知・基礎情報学・精神病理学から

- 1 「レジデンス」というキーワード
- 2 なぜ「地域主導」か——地域環境知から
- 3 生命体にとって情報とは——基礎情報学から
- 4 「とつとつダンス」——身体行為が生み出す世界
- 5 「生きている」ことの実感——精神病理学から

第3章 アートが地域を創造する……………野田邦弘

- 1 地域の時代・文化の時代
- 2 創造都市論の台頭
- 3 若者の地方移住と創造農村
- 4 資本主義の終焉と AI 時代

第II部 つくるためのクリエイティビティ——事例編1

第4章 地域とともに未来を創る劇場を目指して……………五島朋子

——鳥取県鹿野町NPO法人鳥の劇場の挑戦

- 1 「新しい広場」としての劇場
- 2 モデルなき劇場の模索
- 3 劇場は地域が育てる
- 4 地域とともに生きる劇場

第5章 公立文化会館で育まれる創造性……………竹内 潔

——茨城県小美玉市四季文化館に見る「学び」の姿

- 1 茨城県小美玉市の「住民主役・行政支援の文化センター」
- 2 創造的な取り組みをする公立文化会館の顕彰
- 3 みの〜れの取り組みとその展開
- 4 みの〜れ方式の広がり
- 5 創造性を育む場としての公立文化会館

第6章 アートで変える関係・仕事・地域……………川井田祥子

——神奈川県「カブカブ」と岡山県「ぬかつくるとこ」

- 1 アート活動の原点を問い直す
- 2 “ザツゼン”の場としての「カブカブ」
- 3 一人ひとりの個性を発酵させる「ぬかつくるとこ」
- 4 芸芸としてのアートによって well-being の具現化を

第7章 社会の課題を自分ごとにするために……………長津結一郎

——福島県猪苗代町「はじまりの美術館」の例から

- 1 現象としての「障害」
- 2 社会的課題と関わるアート
- 3 はじまりの美術館
- 4 インタビュー結果の分析
- 5 もうひとつの公共をつくる——美術館のこれからの役割

第III部 いきるためのクリエイティビティ——事例編2

第8章 創造の実験場としての被災地……………稲津秀樹

——「ポスト震災20年」の神戸における開発主義の変容

- 1 「ポスト震災20年」神戸からの問い
- 2 『BE KOBE』の示す状況の変化
- 3 「ポスト震災」における力の論理とその精神
- 4 力の論理を問いなおす——多様でありうる「未来」のために

第9章 宇部の野外彫刻とまちづくり……………筒井宏樹

——上田芳江と土方定一の役割

- 1 草分けにして特殊な「宇部の野外彫刻」
- 2 宇部市における彫刻設置事業の概要と創設経緯
- 3 上田芳江と市民運動
- 4 土方定一の役割
- 5 上田芳江と土方定一のつながり

第10章 大災害の現場を祝祭に変えるダイナミズム

——石巻ウェディングの取り組みから……………金菱 清

- 1 このまま死にたくない
- 2 石巻ウェディングという問い
- 3 欠損が生み出す「地域」の巻き込み
- 4 「場所性」と贈与返礼を伴った結婚式
- 5 労働の価値転換と大震災という問いかけ

第11章 暮らしのなかで創造される漁師……………村田周祐

——千葉県鴨川市市置網漁の現場から

- 1 現場からの問い
- 2 事例地の概要
- 3 緩衝空間としてのテイチ
- 4 漁師を仕立てあげる
- 5 暮らしのなかにある漁民の創造性

第12章 アートを活かした大学の地域づくり・人づくり……………野田邦弘・竹内 潔

- 1 鳥取大学の改革とアートプロジェクトの取り組み
- 2 アートプロジェクト「ホスピテイル」
- 3 地域を知り、地域で実践するアートマネジメント講座
- 4 クリエイティビティと教育

あとがき／索引／Column

《編者紹介》\*本チラシの情報は刊行時のものです

野田邦弘 (のだ・くにひろ) 鳥取大学地域学部特命教授

小泉元宏 (こいずみ・もとひろ) 立教大学社会学部現代文化学科准教授

竹内 潔 (たけうち・きよし) 鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース准教授

家中 茂 (やなか・しげる) 鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース教授



ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1番地 営業部直通 TEL 075-581-0296 FAX 075-581-0589  
Mail eigyo@minervashobo.co.jp http://www.minervashobo.co.jp/ 宅配可(手数料@800円+税)/価格税別